

臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある患者様で、診療情報等を研究に利用されることを希望されない場合は、以下の連絡先にお問い合わせください。同意されない場合でも、診療上の不利益が生じることは一切ありません。

■ 研究の対象期間と対象となる患者様

2000年1月1日～2022年3月31日に当院で大顆粒リンパ球性白血病と診断された方

■ 研究課題名

「大顆粒リンパ球性白血病における免疫学的特定と予後に関する研究」

■ 当院の研究責任者(所属)

血液腫瘍内科 末永 孝生

■ 本研究の目的・方法・研究実施期間

大顆粒リンパ球性白血病 (LGLL) は、比較的稀な疾患であります。形態学的に大きな顆粒を持つリンパ球が特徴ですが、大顆粒が形態学的に乏しい場合は診断が困難な場合があります。形態学的診断が困難な場合、マルチカラーフローサイトメトリー (MFC) による診断での細胞表面マーカー確認やフェノタイプ同定が重要になります。しかし、MFC による診断は日本では実地診療において、なかなか進んでいないのが現状です。亀田総合病院では MFC を導入しております。今回、MFC を使用した LGLL 診断における有用性について研究します。さらに、MFC で明らかになった免疫学的特性と患者様の治療経過や背景因子との関連にも着目しました。本研究では MFC の有用性や予後を後方視的に研究していくことにします。実臨床で採取された骨髄や末梢血の余り (残余検体) を使い MFC を行うことで LGLL の細胞表面マーカーの確認を行います。予後因子を明らかにする目的で、電子カルテに記載のある診療記録、検査データなどを利用します。

研究実施期間：2022年5月23日～2025年12月31日

■ 研究に用いる試料・情報の項目

<情報>

年齢、性別、身長、体重、病歴、検査データ、診療録、副作用等の発生状況、画像所見、化学療法実施経過、併用薬剤詳細、有害事象発現時期、死亡時期、最終生存確認時期、病勢進行期、致命的イベント発生率、免疫学的特性、等のカルテデータ

<試料>

実臨床で採取された骨髄・末梢血 等

■ 他の研究機関への提供・提供方法

他の研究機関への試料・情報の提供はありません。

■ 個人情報の取扱い

研究で利用する情報から、患者様を直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会・論文等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

■ お問い合わせ先

担当者（所属）： 末永孝生（血液腫瘍内科）

電話： 04-7092-2211(代)